

ぼくの夏野さい

八南小・2

瀬口 颯馬

ぼくは、一学期に学校で夏野さいをそだてました。トマトはみんなじ分のうえきばちでそだてました。ほかの野さいは、グループでそだんしてすきな野さいを一つきめました。

グループの野さいは、キュウリ、ナス、オクラ、ピーマンの中からえらびます。ナスやピーマンはきらいな子が多かったのでぼくたちはキュウリにしました。

キュウリをうえてから、水をあげたり、草とりをしたり、一生けんめいお世わをしました。

ぼくのトマトのお世わもわすれずにやりました。どのくらい大きくなるのかな、たくさんできるといいな、虫に食べられていないかな、とキュウリやトマトをしゅうかくするのが楽しみだったので、うんどう場に行くときに、かならず見に行きました。

キュウリやトマトに黄色の花がさきはじめました。ぼくのトマトにもいつぱい花がさきますようにとトマトをおうえんしました。でも、友だちのトマトのがたくさん花がさいていたり、はっぱやつるが多かったりしたので、ぼくのトマトが一番少なかったらどうしようと思ひになりました。

トマトのはっぱは、さわるとトマトのにおいがしました。まだトマトがないのに、においがするのはふしぎだと思ひました。はじめは手がくさくなったと思ひつたのに、いつの間にかトマトのにおい

と思ひようになりました。

ぼくたちのキュウリはみんなで考えて、「キュウちゃん」と名前をつけました。キュウちゃんは、学校のプールのよこのはただけでどんどん大きくなりました。雨がたくさんふった日や、風が強かった日が多かったので、土がながれたり、キュウちゃんがたおれたりしてないか心ぱいでした。でも、キュウちゃんは強かったです。たおれないでぼくたちのせよりも大きくなりました。

ほかのグループのオクラやナスも気になりました。みんなだいじにお世わをしていました。ぼくは本当は、ナスやピーマンも大すきなので、ほかのグループの野さいもうらやましかったです。

六月になったら小さいキュウリができてきました。もう少し大きくなるまでまつてからしゅうかくです。

ぼくたちのはじめてのしゅうかくは、キュウリが九本でした。三人で分けたので、三本ずつもつて帰ることができました。家でひやしてからたべました。みそやマヨネーズをつけてたべるととてもおいしいのでたくさん食べることが出来ます。お母さんもお父さんも「おいしいね」と言つてくれました。

雨がふったり、学校が休みの日があつたりするとキュウリがびっくりするくらい大きくなつていふこともありました。大きくなりすぎると中にタネができていました。ぼくは、タネがあつてもおいしいと思ひますが、本当はタネがないほうがおいしいみたいです。それとあまり大きくなるまでしゅうかくしないでいふと、カラスや虫が食べに来ます。だからぼくたちが先にしゅうかくするようにしていました。

ぼくのトマトは、夏休みになる前に家にもつて帰りました。まつ

赤になったらお父さんとしゅうかくします。雨ふりの日がつづくと
トマトがぼくはつしてしまうのでちゅういがひつようです。

夏休み中に、おばあちゃんからにもつがとどきました。おばあちゃんたちがそだてたピーマン、トマト、キュウリ、じゃがいもが入っていました。ぼくたちの野さいもおいしかったけど、おばあちゃん
の野さいもおいしかったです。夏野さいはおいしいし、たくさん
しゅうかくできるから大すきです。来年も夏野さいを今年よりもた
くさんそだててみたいと思います。